

# 5 エレクトリカル

5・1	メーター	5-2
5・2	ワイパー & ウォッシャー	5-3
5・3	ヒーター & エアコンディショナー	5-5
5・4	オーディオ	5-6



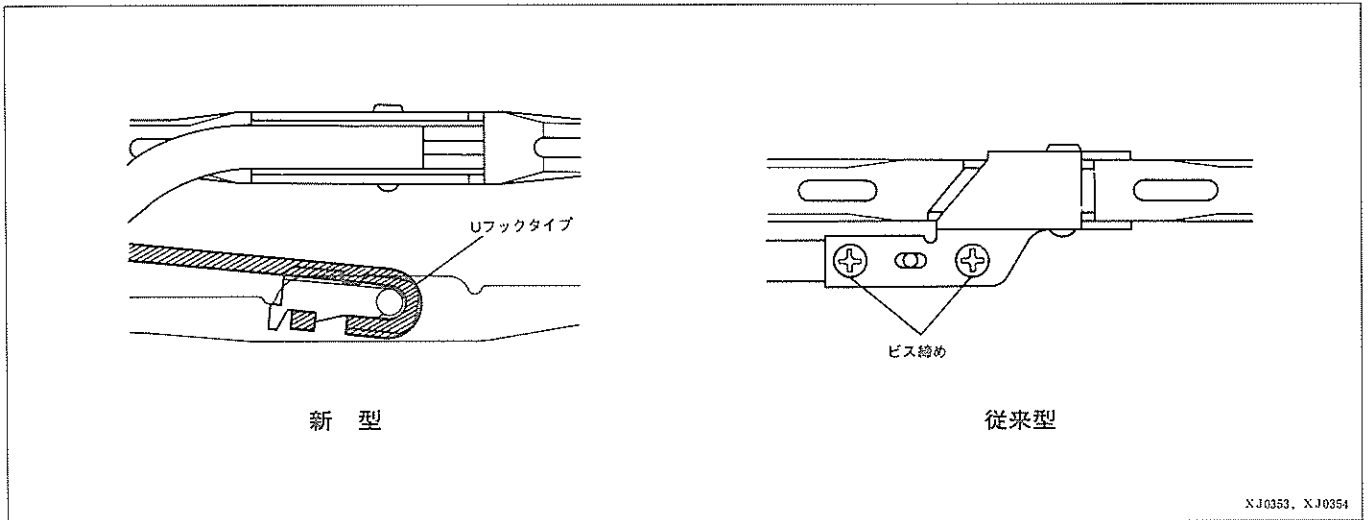
5・2

ワイパー & ウォッシャー

■機構説明

1. フロントワイパー

- 従来、ワゴン系の寒冷地仕様車およびスノーバージョンに採用のフルコンシールド、ロックバック機構付きフロントワイパーを全車に標準設定することにより、使用性の向上をはかりました。なお、フルコンシールドとセミコンシールドの切り替え方法は従来と同様としました。
- ワイパーアームとワイパーブレードの締結方法を、従来のビス2本締めタイプからUフックタイプに変更し、見栄えおよびワイパーブレード交換時における作業性の向上をはかりました。
- 運転席側のワイパーブレード長を変更しました。(ブレード長475mm →500mm)
- 運転席側、助手席側ともにワイパーブレードの断面形状を変更し、ワイパーブレード反転時における衝撃音の低減をはかりました。
- ワイパーモーターの回転数を変更し、ワイパー作動の安定性の向上をはかりました。

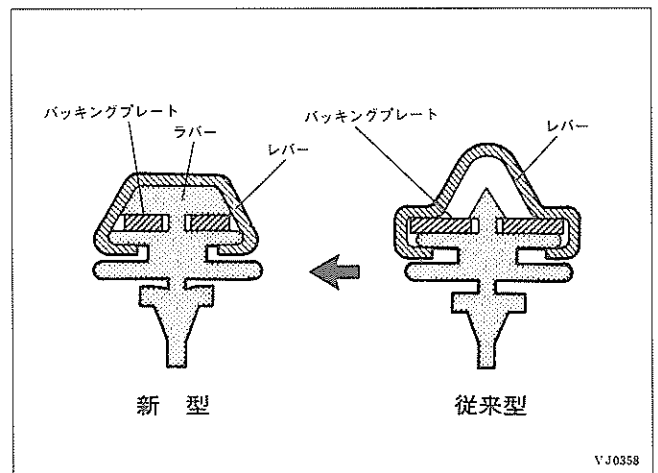


▶構造と作動

【1】構造

〔1〕ワイパーブレード

従来はレバーとバックングプレートが接触していましたが、今回、レバーとバックングプレートの中にラバーを入れて、金属同士の接触をなくし、ワイパーブレード反転時における衝撃音の低減をはかりました。



## 2. リヤワイパー (リヤワイパー装着車)

- フロントワイパーと同様，ワイパーアームとワイパーブレードの締結方法を従来のビス2本締めタイプからUフックタイプに変更し，見栄えおよびワイパーブレード交換時における作業性の向上をはかりました。
- フロントワイパーと同様，ワイパーブレードの断面形状を変更し，ワイパーブレード反転時における衝撃音の低減をはかりました。

## 3. ウォッシャー

- 従来，寒冷地仕様車およびスノーバージョンに採用の2.6ℓウォッシャータンクを全車に標準設定することにより，使用性の向上をはかりました。

5・3 ヒーター & エアコンディショナー

■機構説明

1. 冷媒

- オゾン層破壊防止を目的として、従来の冷媒 (R12) に変えて塩素を含まない新冷媒 (R134a) を採用しました。
- 新冷媒と従来の冷媒には、物性上・特性上の違いがあるため、冷媒サイクルを構成する部品やコンプレッサーオイルなどは、新冷媒用のエアコンシステムと従来の冷媒用のエアコンシステムとでは互換性はありません。そのため、各部品および各部品のジョイント等を変更し、誤使用の防止をはかっています。ただし、コンプレッサーオイル、Oリングなどは誤って使用する可能性がありますので十分注意してください。

▶構造と作動

【1】コンプレッサーオイル

コンプレッサーオイルは、冷媒に溶け込んで冷媒サイクル内を循環し、コンプレッサーを潤滑する働きをしていますが、従来のコンプレッサーオイルは新冷媒に溶け込まないためサイクル内を循環せず、コンプレッサーの寿命を著

しく劣化させます。このため、新冷媒のエアコンシステム専用のコンプレッサーオイルを使用しています。

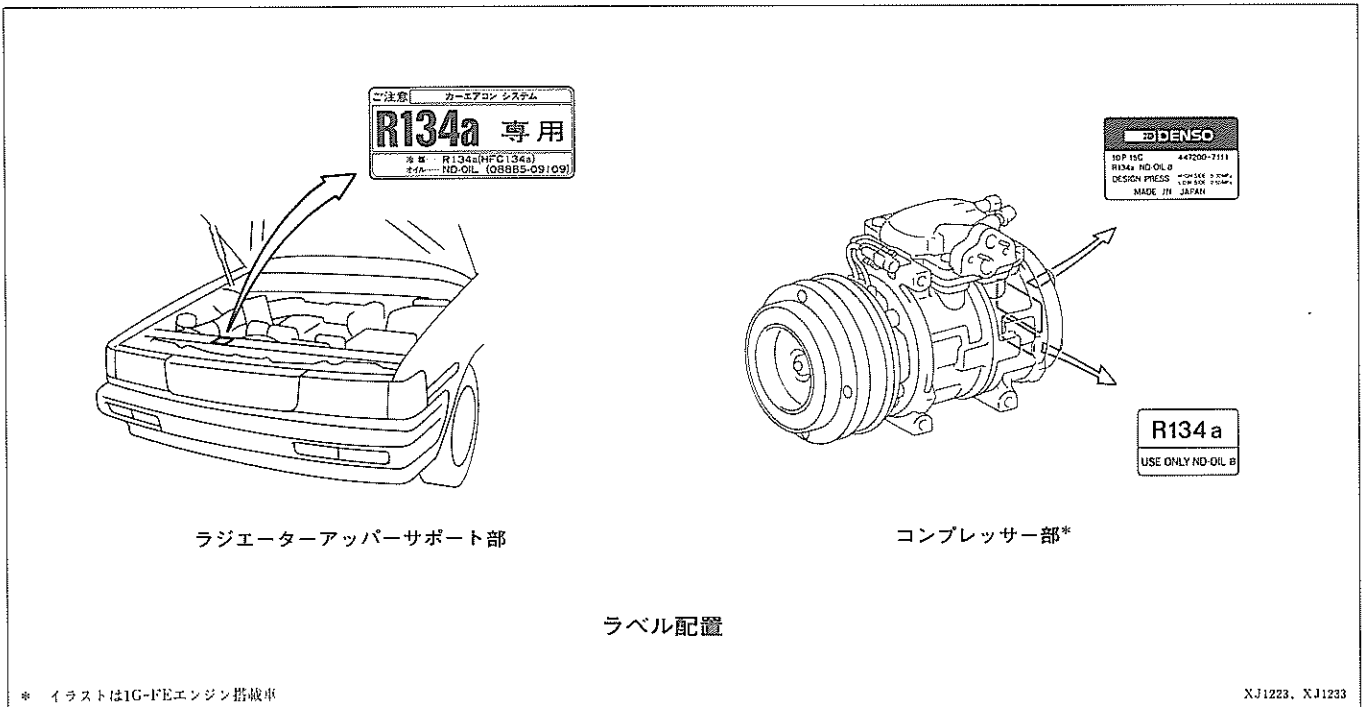
新冷媒用のコンプレッサーオイルは水分を含みやすいため、使用後は速やかに封をしてください。

なお、コンプレッサーオイルの誤充填防止のため、ラジエーターアッパーサポートの右部と新冷媒用コンプレッサーの後部に、適用冷媒と適用コンプレッサーオイルの種類を明記しました。

仕様

冷 媒	R134a(新型)	R12(従来型)
コンプレッサーオイル	ND-OIL 8 (PAG*)	ND-OIL 6 (鉱物油)

\* ポリアルキレングリコール (合成油)



5

【2】Oリング

新冷媒のエアコンシステム用と従来のエアコンシステム用のOリングは、材質・線径が異なります。このため、新冷媒用のエアコンシステムに従来のエアコンシステムのOリングを使用すると、発泡・膨潤し冷媒漏れを起こしますので絶対に誤使用をしないでください。

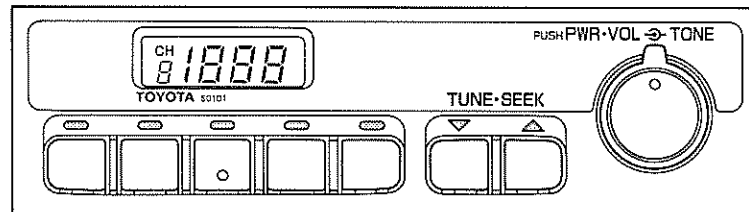
5・4

オーディオ

## ■機構説明

## 1. チューナー

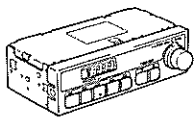
- AM チューナーをメカ式から電子式に変更し、使用性の向上をはかりました。



AM電子チューナー

KJ0061

## 仕様



NJ0238

## AM電子チューナー

PLLシンセサイザー選局。AM 5 局プリセット。自動受信感度切り替え。トーンコントロール。

最大出力7W×1 アンプ内蔵。